

### ☆令和元年度南多摩保健医療圏人材育成研修（栄養士）を開催しました

9月3日（火曜日）、南多摩保健所では、<sup>※1</sup>「液体ミルク（乳児用調製液状乳とは？～その特徴と活用方法について“赤ちゃん防災プロジェクト”より～）」をテーマとして人材育成研修（栄養士）を開催し、圏域5市（八王子市・町田市・日野市・多摩市・稲城市）の行政栄養士、給食施設の栄養士等146名の参加がありました。

研修会では、はじめに当保健所栄養士から「令和元年度東京都食生活改善普及運動の実施内容」等について、情報提供しました。

次に、公益社団法人日本栄養士会常務理事で管理栄養士の下浦佳之氏から、乳児用液体ミルクの特徴や使用方法、備蓄する場合のアドバイスなどについて、お話しいただきました。

参加者からは「心配だった点（栄養面・衛生面など）が解消された」「粉ミルクと液体ミルクの違いが良く分かった」「緊急時に紙コップやスプーンで飲ませる方法を知ることができて良かった」という感想が寄せられました。ほかにも、9月1日の「防災の日」直後の、防災への関心が高まっているタイミングでの開催だったため、「園での備蓄を検討するのによい機会となった」「園内で話題に上がっていたタイミングだったので、とても参考になった」という声もありました。

また、講師からは、日本栄養士会の災害支援チーム<sup>※2</sup>「JDA-DAT」として被災地を支援した際の臨場感溢れる話がありました。参加者から「災害時にどのように対応すればいいのか良く理解できた」「災害時に自分のできることを見つけたい」などの感想もあり、被災地における管理栄養士の支援活動を詳しく知ることによって、参加者自らが専門職種として何をすべきかを考える良いきっかけとなりました。

当保健所では、各職場や地域で活躍する栄養士に対し、今後も人材育成に役立つ研修会を行っていきます。

※1 液体ミルク（乳児用調製液状乳）…2018年8月に法令整備がなされ、2019年1月末に国内2事業者から2製品が消費者庁より承認された後、2019年春から販売開始。調乳が不要でそのまま飲ませることができるため、外出時などに便利な他、熱源や水が不足するような災害時にも有用であり、備蓄品としての活用も期待されている

※2 JDA-DAT…国内外で大規模な自然災害（地震、台風など）が発生した場合、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門と協力して、緊急栄養補給物資の支援など、状況に応じた栄養・食生活支援活動を通じ、被災地支援を行うことを目的とした日本栄養士会の災害支援チーム

【南多摩保健所】

